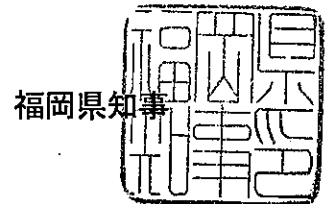




19道建第157号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 殿



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は福岡県の道路事業につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付国道企第114号において依頼のありました標記の件について、下記の通り回答いたしますのでご査収のほどよろしくお願いいたします。

記

I. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

道路は、国民の安全で安心な生活、経済活動、産業育成、都市機能の広域的な相互補完等を支える重要な社会基盤であります。

特に、福岡県では、「北部九州自動車150万台構想」を掲げ、地元調達率70%を目標にアジア最先端の自動車生産拠点形成を目指していますが、目標を達成するためには、県内各地域への関連産業の立地とそのネットワーク化を可能とする道路網の整備が極めて重要です。

同時に、県民が安全に安心して生活していくために必要な道路環境の整備も重要です。

しかし、例えば

- ・東九州自動車道が未完成である等、基幹的な道路さえ未だ整備途上にある
 - ・混雑区間の延長が県管理道路の2割(約600km)に及んでいる
 - ・通学路の約6割(約700km)に歩道がなく、異常気象等による年間通行止め回数も125回(過去4カ年の平均)にのぼっている
 - ・県管理橋梁の約20%、800橋が架設後60年以上を経過している 等
- 今なお、道路整備は、不十分な状況にあります。

そのため、管内の全ての市町村をはじめ、経済団体、医療・福祉、公共交通、流通、観光等、多様な分野の関係者から道路整備に対して多くの要望が寄せられています。

このような状況を踏まえ、重点化を進める上で特に優先度の高い政策として以下の2点を求めます。

1. 国際競争に打ち勝つ道づくりの推進

福岡県及び北部九州圏域が東アジアの拠点として国際競争を勝ち抜くためには、自動車をはじめとする生産拠点と生活圏、陸海空の玄関口（高速道路インターチェンジ、新幹線駅、国際空港、国際港湾等）をネットワーク化する道路整備が必要です。また、合わせて、基幹的なネットワークで慢性的に発生している渋滞の解消が必要です。

【当該テーマに含まれる施策】

- 1) 広域的な交流を可能とする基幹的な道路ネットワークの整備
- 2) 生産拠点と県域内各生活圏を結ぶ地域幹線道路ネットワークの整備
- 3) スマート IC の設置等による既存ストックの有効活用の促進
- 4) 都市機能の相互補完を可能とする生活圏間交流ネットワークの整備
- 5) 渋滞対策

2. 安全で安心な生活を支える道づくりの推進

福岡県では交通事故が全国的にみて高いレベルで発生しているほか、通学路の歩道整備も遅れています。また、未改良区間等を中心に台風・豪雨、降雪等による通行規制が発生し、県民生活に支障を及ぼしています。そのため、通学路等の歩道の整備や交差点改良等の道路交通安全対策、未改良区間の拡幅や防災対策の推進が必要です。

また、道路ストックもかなりの量にのぼっており、長期的にみて良好なサービス水準を適正な費用で維持するためのアセットマネジメント関連施策の推進が必要です。

【当該テーマに含まれる施策】

- 1) 通学路等の歩行空間の整備などの道路交通安全対策
- 2) 緊急輸送道路及び地域の生命線となる道路の信頼性の確保
- 3) 電線地中化、景観形成、良好なまちづくり等総合的な沿道空間・市街地整備
- 4) 開かずの踏切を解消する連続立体交差事業等の推進
- 5) 将来にわたりサービス水準を維持する効果的・効率的な道路の維持管理

II. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

効率化を徹底的に進める上で、福岡県は以下の3点を求めます。

1. スピード感をもった重点的、計画的な道路整備

厳しい財政状況の中で、整備効果の向上や地域、利用者が整備効果を実感できる道路整備が求められています。時間はコストであるとの認識の下、選択と集中により比較的短期間で事業を完了させる事業の進め方が重要です。

また、事業に対する地域の理解を頂く上で、さらに、沿道への投資を呼び込む上で、主要な事業については完成目標の公表が有効であると考えます。

2. 国民との協働

行政コストをかけずにきめ細かいサービスを提供する上で地域住民や企業と行政との協働が重要です。道路の分野においても、道の駅や道路の清掃、美化等において協働が進められていますが、さらにこれら取り組みを推進するとともに、交通安全対策の実施等、身近な問題に関する協働の推進が重要であると考えます。

3. コスト縮減の徹底

国のイニシアチブにより公共事業のコスト縮減の取り組みが強力に進められていますが、1. 5車線道路や幅の狭い歩道の整備等、沿道や地域の状況に応じた整備水準を活用すること等により一層のコスト削減を図ることが重要であると考えます。

Ⅲ. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

その他、道路政策や道路の整備・管理全般について、以下の3点を求めます。

1. 地方の実情を十分に踏まえた政策決定

福岡県における道路整備は未だ不十分であり、自動車等の生産拠点をネットワークする基幹的な幹線道路整備から生命線的役割を果たす山間部道路の防災対策まで、多様な課題に対応する道路整備を計画的、重点的に進める必要があります。

このような多様な地域の実情を十分に踏まえた上で、道路整備の中期的な計画の策定をはじめとする今後の道路政策の政策決定を要望します。

2. 地方の道路整備や維持管理のための安定的な財源の確保

真に必要な地方の道路整備や適切な道路維持管理を計画的に進めるためには安定的な道路整備財源が不可欠であり、その確保を要望します。

3. 地方道路公社有料道路活用促進のための財政支援

地方道路公社が管理する幹線的な有料道路については、その活用により地域の活性化や平行する一般道路の交通安全対策等に大きな効果が見込まれることから、その利用促進を図る際に必要となる費用の一部について国からの財政支援を要望します。